

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・秋本番を迎え、ファッション商品が活発に動いており、特に季節商材の中ではブーツの売上が前年の約2倍になっている。客の購買態度を見ると、一品だけでなく、まとめ買い、コーディネート買いが目立つ。
		スーパー（店長）	それ以外	・最近、地方スーパーにとって脅威の大手資本のスーパーが数店舗オープンしたが、なぜか当店では来客数、売上とも前年に比べて微増となっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・週末は天候に恵まれ、近くの公園やスポーツ施設への人が好調で、売上も前年比102%となった。主力のおにぎり、弁当、ファーストフードなどが大変好調であったが、一方で値段競争の激しい飲料や雑貨は減少した。
		その他専門店 〔医薬品〕（営業担当）	販売量の動き	・全体の売上は前年比112%と伸びている。完全自由化となった酒類は同170%、介護関連とベビー関連が共に130%と増加しているのが目立つ。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・レストラン利用客の増加傾向が続いており、加えて一般宴会の実施件数の増加、客室稼働率の上昇などにより増収を見込んでいる。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・大型物件の受注という特殊要因を別にしても、増加基調である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・携帯電話の番号ポータビリティが始まったが、予想以上に客の反応があり、問い合わせや購入者が増え始めてきた。
	住宅販売会社 （従業員）	来客数の動き	・今春に住宅ローンの事前審査を申し込んだ客の実行期限が迫っているため、契約数が多くなっている。これから冬に入るため、それまでに工事を終わらせたいという客の需要も増えている。	
	変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	お客様の様子	・売上の地域差が顕著になってきた。市内では駅前的大型ショッピングセンターのオープンを見越して、商品の動きが良くなっている。半面、隣の県での動きが弱くなってきた。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・婦人服について月の前半は冬物のジャケットや中綿コート類が動いたが、後半は来客数が激減し、非常に厳しい状態となった。月全体の売上は前年の約98%で、商品別にはコート、ジャケットの売上が前年の6割であったが、ニットのロングカーディガン、インナー用のニットやウールのカットソーなど薄手の羽織物は良かった。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・気温が高かったため、冬物衣料や暖房用品の売上は例年に比べ良くないが、食品ではあまり変化が見られない。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・販売量が増加しても、一品単価の低下が激しいため、客単価を維持するのが精一杯である。売上は横ばいで推移しているものの、収益的には厳しい。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・会員向けの特別招待会の開催月を例年の10月から9月に変更したため、今月の来客数は前年の90%、客単価は同99%の実績となった。 ・気温が高かったため、秋物商品の動きが不振であった。またプロ野球セ・リーグの優勝セールが平日開催となり、盛り上がりには欠けた。
コンビニ（経営者）		販売量の動き	・来客数は微増、客単価は微減の状態が続いている。	
コンビニ（店長）		販売量の動き	・来客数、客単価とも横ばいで推移している。	
衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・10月に入り、気温が暖かかったせいもあり、アウターの販売量が伸び悩んだ。		
乗用車販売店 （経営者）	お客様の様子	・客の商談は代替、新規とも、事故や老朽化などやむを得ない事情のものばかりで、景気回復の兆しは見られない。		

	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・主力車種のマイナーチェンジにより販売増を期待したが、空振りに終わった。12月には新コンセプト車が発売されるが、この登場時期まで決断を遅らせる客が目立つ。
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・軽自動車は前年比増加しているが、登録車の前年割れが続いている。ガソリンの高騰やIT家電等との競合から、自動車に対する関心が薄れている。
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・新型車の受注台数はほぼ横ばいである。
	自動車備品販売店 (従業員)	販売量の動き	・ガソリンが高値安定しているため、車関係の支出を抑えようと努力している客が多く見受けられる。スタッドレスタイヤなど必需品についても価格を比較する客が多く、少しでも安く購入したいという動きが見られる。
	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・前年に比べ、昼、夜共に来客数はわずかに減少しているが、単価は共に上昇している。この大きな要因として、国内旅行者による会食単価の上昇が目立つ。
	タクシー運転手	来客数の動き	・週末は人出が若干増え、タクシーの利用も少し増加した。しかし、しばらく止まっていた新規参入が2社増加したことから、ますます競争が激化し、タクシー台数は飽和状態になっている。また、平日と昼間のタクシー利用は相変わらず少ない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・一時は飲酒運転撲滅運動のお陰で売上が増加したが、最近夜の外出を抑える客が増えたせいか、売上が減少している。
	通信会社(役員)	販売量の動き	・地元の全テレビ局が地上デジタル放送を開始し、盛んにPR番組を放映しているが、10月は特に大きなイベントもなく、ケーブルテレビ契約は前月同様に推移している。
	その他レジャー施設(職員)	来客数の動き	・単価は横ばいで推移しているが、来場者数は減少した。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・同業者の会合においても、売上や来客数が伸びているという話はほとんど聞かれない。
	住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・リフォーム関係では大型家電量販店との競合が激しく、価格競争を強いられている。
やや悪くなっている	一般小売店[事務用品](営業担当)	販売量の動き	・文房具の売上は前年並みであるが、コピー、ファクスなどの事務機器やスチール家具などの販売量が伸び悩んでいる。
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・郊外型の量販店の進出により、平日の来客数が減少している。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・11月に近隣で大型の商業ビルがオープンするため、特に若い客層で買い控えが発生している。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・来客数、客単価共に落ちている。他店でも開店セールや周年セールを相次いで開催しているが、来店客はそれほど多くない。しかし、競争激化で一品単価の下落が進んでいる。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・競争激化により、来客数の前年割れが続いているが、客単価は前年比で上昇している。景気回復により消費支出は増えているが、オーバーストア状態も引き続き進行している。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・飲酒運転の社会問題化により、アルコール類は前年に比べ約3割減となり、つまみ類も影響を受けたため、来客数、客単価共に減少した。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・旅行シーズンのせいか、常連客も県外の行楽に出かけ、また団体客の来店も数回にとどまり、売上は前年の9割とさえない月であった。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・募集旅行や一般団体などバスを中心とした旅行が減ったため、全体の入場者数は前年同月に比べ2けたの減少となっている。
	悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き
企業動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	輸送業(配車担当)	受注量や販売量の動き

	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・周辺情報も含めて、不動産が徐々に動き始めている。
変わらない	食料品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・高付加価値商材は昨年から販売増加の傾向が進んでいたが、ここに来て前年と同水準で推移しており、消費傾向に好転の実感がない。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・多品種小ロット化が進んでいるものの、量的には堅調に推移している。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・住宅着工件数は横ばいで推移し、売上もこれに連動して変わらない。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・眼鏡の主要取引先の販売状況は上向きになっているものの、各社にばらつきがあり、産地メーカー全体としては依然、厳しい状況が続いている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・8、9月は10月以降の仕事の見込みが立たず、不安感が漂っていたが、10月に入り下請工事の受注が増え、休業の土曜日を出勤で対応することも多くなっている。ただし、年内完成の工事ばかりであり、来年に入ってから仕事量には不安を覚える。
	金融業（融資担当） 司法書士	取引先の様子 取引先の様子	・衣料品店や百貨店の販売動向は横ばいで変わらない。 ・企業については無担保融資、私債の引受けなどが多くなっているが、個人では生活保護・多重債務相談が増加している。
やや悪くなっている	建設業（総務担当）	それ以外	・工事コストの上昇傾向が続くにもかかわらず、見積・入札価格が採算割れと思われる低水準で乱戦が続いており、適正な価格での受注機会は一段と厳しくなってきた。
	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・事務機器・事務用品卸売業では小規模な商談でも入札や合い見積を要求される傾向が強くなり、価格競争が一段と厳しくなっている。 ・印刷業では仕入単価が10～15%値上がりしているが、販売価格への転嫁に苦戦している。
悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
やや良くなっている	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・合同就職面接会の開催を案内したところ、企業からの参加申込が相次ぎ、数日で募集枠が埋まり、断るのに苦労している。また、面接会当日の採用内定者数は近年になく多かった。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は製造業を中心に前年比で増加を続けている。ただ、相変わらず非正規型求人が半数を占めている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・大型店の新規オープンという要因もあり、販売員の派遣要請が目立つ。同業他社への要請も多い。
	求人情報誌製作会社（編集者）	雇用形態の様子	・派遣社員の募集は引き続き多く見られるが、正社員の募集は伸びていない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・全体的に求人数は増加傾向にあるが、一方では企業の倒産なども見受けられる。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・事業の多忙や拡大による求人よりも、欠員補充の小人数の求人が多い。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-